生活者ネットワーク議会報告
わくわく通信 NO.168

2021年4月13日発行　生活者ネットワーク
発行責任者　西のなお美
〒183－0023　府中市宮町 2-15-1 柏屋ビル１Ｆ
Tel042-360-4443　fax042-360-4462
Eメール fuchu-snet@ric.hi-ho.ne.jp
ホームページ http://fuchu.seikatsusha.me/
西のなお美　http://nishino.seikatsusha.me
奥村さち子　http://okumura.seikatsusha.me

行財政改革で脅かされる市民サービス

2021年度予算

ますます進む公共事業の民間委託

予算額は、1097億円で過去最大となりました。市は新型コロナウイルス感染症拡大による格差の顕在化にもかかわらず、財政削減や効率化のためとして、民間委託や非正規雇用の職員を増やす「行財政改革」の流れを止めません。

◆市職員の中でも市民の相談支援業務や、教育の場での支援員、いわゆるエッセンシャルワークと呼ばれる職種の多くが非正規雇用で、最長 1 年という不安定な有期雇用です。専門性を生かして直接的に市民の暮らしを守る重要な仕事であるからこそ、雇用の安定を保証し、専門性を活かせるよう公務労働のあり方を見直すべきです。

◆昨年の官製談合事件を受け、市は入札監視のための第三者機関（入札監視委員会）を設置するとしています。市はこの委員会に入札や契約手続きについての資料提供を十分に行い、幅広い観点から客観的に審議できるようにすべきです。

◆文化センターなどの施設の使用料収入は新型コロナウイルス感染症の影響で半減する見込みです。市民活動が制限される社会状況の変化を見据えれば、行財政改革で進めてきた使用料・手数料の「受益者負担」の方針は見直すべきです。

◆これまでけやき並木周辺と市の北西部で行なわれていた道路包括管理委託を市内全域に広げることを予算化しました。民間事業者が道路を管理することになり、事業者任せになることが懸念されます。市が責任を持って管理すべきです。

◆市は長期的な財政削減を目的に「公共施設マネジメント推進プラン」を作りましたが、この計画には記載されていない公共施設の移転・統合計画があることがわかりました。しかし市の理念や政策的な方向性に基づく計画とは言えない唐突なものです。

◆医療的ケアが必要な子どもが地域の保育園や幼稚園に通えるような制度を求めてきましたが、実現はしていません。関係機関との連携体制を作ることが急務です。

◆脱炭素社会に向けて「二酸化炭素排出ゼロ」を表明する近隣市が多数ありますが、市は環境基本計画を策定する中で対策を検討していくとのことです。気候変動、地球温暖化防止対策は、今すぐ取り組むべきです。

コロナ禍で市民の不安が大きくなる中、働き方や、公共の果たす役割を見直さなければ、市民サービスは低下します。投資的経費は増大していますが、一方で子どもや女性の貧困対策や人権にかかわる問題の救済策にも積極的な予算とは言えません。生活者ネットワークは、子どもや女性の貧困、ジェンダー、格差の問題に市が重点的に取り組むことを訴えてきました。**いまこそ行政の役割を見直すべきだと考え、予算に反対しました。**

コロナ禍で増大する不安、孤立……産前産後支援の拡充を

奥村 さち子
一般質問

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、里帰り出産ができず、家族の支援が受けられない状況や、子育てひろばなどの縮小で孤立することが多くなり、産後うつなど深刻な状況になる人が増えています。出産、育児にさらなる不安を抱える今、産前産後の支援の取り組みが急務と考え、質問しました。

産前産後、育児に対する不安の声は増え、相談件数は昨年度比170％と急増しています。府中市では、産後の不調や育児不安がある産婦を対象に、心と体のケアを行う産後ケア事業として、ショートステイ（宿泊型）とデイサービス（日帰り型）を行なってきましたが、今年度から、助産師と母子とのコミュニケーションを図ることで、育児不安や孤立感を解消できる集団型のデイサービスも開始され、ニーズは多いとのことでした。

産前産後支援が必要な人に、現状の支援だけでは行き届いているとは言えません。交流の機会が少ない今だからこそ、集団型のデイサービスを拡充することを求めました。また産後ケアで対象となる乳児の月齢を現在の生後4か月未満からさらに延長することや、ショートステイやデイサービスに出向けない人への訪問型の支援の取り組みを行なうことを求めました。

電柱に水害時の浸水深が表示されるけれど‥

隣の多摩市の電柱には浸水深と避難所の表示があり、日ごろから水害への意識が高まると共に、避難場所を認識することができます。府中市でも掲示板の設置が決まりましたが、表示されるのは浸水時の水の深さだけとのことでした。

多摩市の電柱の掲示版

3月議会より

西のなお美
一般質問

ルミエール府中・中央図書館の運営手法の検証に問題あり？！

ルミエール府中・中央図書館は公共施設を民間事業者が維持管理、運営する「ＰＦＩ方式」で運営されてきました（契約期間15年）。２０２２年９月にその契約期間が満了となることから、市は今後の運営手法を検討し、次期もＰＦＩ方式で行なうこととしました。これまでの運営や管理の検証や事業者の選定ががどのようになされたのか質問しました。

市は次期の運営手法を決めるための検証を行ないましたが、その調査を委託されたのは、ＰＦＩ導入当初に運営に対してアドバイスする契約を結んだコンサルタント事業者でした。その後のＰＦＩ導入が適正であるかの調査にはほかに入札に応じられる事業者はありませんでした。このように一社が施設の全ての情報を握っているからこそ委託が受けられる状況で15年間の検証が公平かつ適切に行なえたのかは疑問があります。

図書館法に基づいた図書館協議会が府中市でもやっと２０１８年に設置されましたが、協議会の運営の支援を請け負ったのも前述の事業者でした。協議会は、「今後の運営手法」と「新型コロナウイルス感染症対策」という、限定されたテーマで議論され短期間で終了しました。図書館協議会とは、図書館に対する要望や意見を、図書館運営に反映させる役割を担っており、常設の協議会とするべきです。

今後もＰＦＩ事業の運営については引き続き注視していきます。

市庁舎建設特別委員会より

市庁舎の建て替えに向けて、今年1月に総合評価方式による一般競争入札が行なわれました。総合評価方式は、入札金額に技術提案などが加点されます。予定価格は約１５７億円でしたが、オリンピックと新型コロナウイルスの影響を受け、建設事業者からの入札金額は予定価格を大きく下回りました。

落札した「大成・三浦建設共同企業体」の入札金額は約１２８億円で、入札に応募した４社の中では一番低い金額でしたが、入札価格が基準を下回ったため、「低入札価格調査」が行われたとのことです。調査の結果、契約内容に適合しているとの報告でしたが、その調査内容については公表されませんでした。公共事業の調査内容はすべて明らかにすべきです。

2件の意見書が全会一致で可決されました

1 水道水源井戸の有機フッ素化合物汚染の原因究明と汚染除去を求める意見書

２０１９年６月に府中市武蔵台浄水所から濃度の高い有機フッ素化合物が検出され、東京都水道局は取水を停止しました。昨年配水区域内の住民から、有機フッ素化合物 PFOS の血中濃度が全国平均値の２倍の値で検出されたことが報道され市民に重大な不安を与えています。

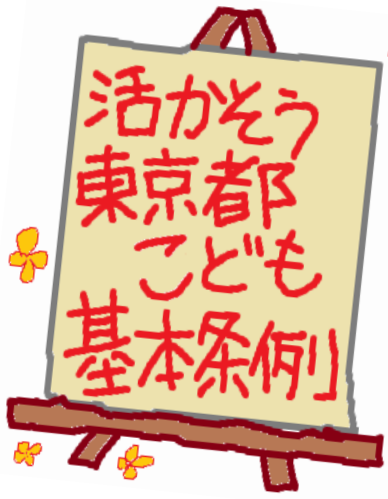
東京都は「有機フッ素は用途も多く、都内すべての市区で検出されているため原因究明は困難」としています。胎児や新生児に及ぼす健康影響を懸念する専門家もおり、国および地方自治体は、早急に問題を解決すべきと指摘しています。生活者ネットワークは、汚染原因の究明と情報開示、汚染除去の方法を確立することを国と都に求めることを提案し、可決されました。

2 「女性差別撤廃条約選択議定書」の速やかな批准を求める意見書

1979 年国連で採択された女性差別撤廃条約は、締約国があらゆる分野で男女に平等の権利を確保する義務を負い、女子への差別を撤廃するために必要な措置をとるとしています。1985 年に日本はこの条約を批准しました。1999 年には、条約の実効性を強化するために「女性差別撤廃条約選択議定書」が制定されましたが、日本はこちらは批准していません。

国は女性差別撤廃条約を批准し、男女共同参画を掲げていますが、女性の政治参画は遅れ、収入格差も依然として残り、ジェンダーギャップ指数は世界 156 カ国中 120 位です。男女平等を進めるには、選択議定書の批准は不可欠です。

府中市議会では、「女性差別撤廃条約選択議定書」の批准を国に求める意見書が可決されました。



緊急学習会に参加

生活者ネットワークは20年以上前から、子どもの権利条例の制定を求めてきました。ようやく都議会に議員提案で提出、可決され「東京都こども基本条例」が成立しました。生活者ネットも共同提案者となっています。

これを機に、条例の策定にもかかわった東洋大学教授の森田明美さんを講師に、学習会が開かれました。条例には「こどもはあらゆる場面において権利の主体として尊重され、最善の利益が保障されなければならない」と明記されています。条例制定の経過や内容を共有し、条例をどう活かしていくかなど今後の活動に向けた学習を行ないました。府中市においても条例制定を目指し、働きかけを行なっていきます。

わくわくまちづくりトーク

議会報告とまちづくりについての意見交換の会です。

4月26日（月） 19時～
府中市市民活動センタープラッツ
第5会議室

参加ご希望の方は、生活者ネットワークのホームページ、もしくは電話にてお申し込みください。

問い合わせ、申し込み：TEL 042（360）4443

※zoom 参加をご希望の方は、ホームページからお申し込みください。

ホームページ： https://fuchu.seikatsusha.me/